



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)熊谷 正史  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)鈴木 幸博 TEL (053) 522 - 5176  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	315	△34.3	△159	—	△159	—	△161	—
23年3月期第1四半期	480	54.3	△95	—	△91	—	△107	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△11.78	—
23年3月期第1四半期	△7.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,445	2,290	66.5
23年3月期	3,865	2,452	63.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,290百万円 23年3月期 2,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	700	△40.7	△297	—	△298	—	△301	—	△21.97
通期	2,500	△3.0	18	△7.9	11	△74.1	6	△75.0	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	13,934,592株	23年3月期	13,934,592株
24年3月期1Q	231,987株	23年3月期	231,987株
24年3月期1Q	13,702,605株	23年3月期1Q	13,706,165株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
5. 補足情報 .....	7
生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による後退局面から徐々に脱しつつあるものの、自粛に伴う個人消費の低迷、深刻な環境汚染や風評被害などに加え、欧州や米国の信用不安による円高懸念も加わり、先行きが極めて不透明な状況下で推移いたしました。

当業界におきましては、震災の影響による部材の調達難や電力不足などにより生産活動が一時停滞しておりましたが、復旧が進むにつれて部材の供給も徐々に緩和され、自動車や家電製品なども本格的な生産体制へと戻りつつあるなど、回復基調で推移いたしました。

このような状況のなかで当社は、受注確保に向けて販売代理店との連携を強化するとともに、国内外の主要展示会にも積極的に出品し情報収集と拡販に注力いたしましたが、国際情勢の悪化や震災の影響等により主要顧客の設備投資計画は凍結や先送りが増加するなど、当社の受注環境は厳しい状況で推移したことから受注高は2億87百万円（前年同期比54.9%減）となり、期初の受注残高が少なかったことにより売上高は3億15百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

損益面につきましては、原材料費の更なるコストダウンに注力するとともに、給与等の減額や諸経費の削減を実施いたしました。売上高の減少による影響が大きく1億59百万円の営業損失（前年同期は95百万円の損失）、1億59百万円の経常損失（前年同期は91百万円の損失）、1億61百万円の四半期純損失（前年同期は1億7百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期累計期間末における総資産は34億45百万円となり、前事業年度末と比べて4億19百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が48百万円増加し、現金及び預金が1億74百万円、受取手形及び売掛金が1億54百万円、有価証券が1億50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は11億55百万円となり、前事業年度末と比べて2億58百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が1億円、ファクタリング債務が66百万円、1年内返済予定の長期借入金が44百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は22億90百万円となり、前事業年度末と比べて1億61百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1億61百万円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期の業績予想は、東日本大震災の影響等により未定として公表しておりましたが、当第1四半期累計期間の業績及び今後の動向を検討した結果、以下のとおり業績予想を算定しております。なお、現時点においては、平成23年5月14日付「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

	第2四半期累計期間				通 期			
	平成23年 3月期	平成24年 3月期	増減額	増減率 (%)	平成23年 3月期	平成24年 3月期	増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	1,180	700	△480	△40.7	2,576	2,500	△76	△3.0
営業利益 (百万円)	△46	△297	△251	—	19	18	△1	△7.9
経常利益 (百万円)	△41	△298	△257	—	42	11	△31	△74.1
当期純利益(百万円)	△60	△301	△241	—	23	6	△17	△75.0

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度において当期純利益を計上いたしましたが、前々事業年度まで5期連続して当期純損失を計上しており、当第1四半期累計期間において四半期純損失を計上していることから、当社を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該事象等を早期に解消し安定した利益体質への転換を図るため、全社一丸となって次の諸施策に取り組んでまいります。

#### ① 受注確保、コスト削減及び無駄の排除

受注確保につきましては、製品別・得意先別・地域別の販売戦略に基づく受注活動に注力するとともに、既存の販売代理店との連携強化と新たな販売代理店の設置により一層の販売力強化を目指すほか、国内外の展示会を効果的に活用し情報収集と拡販に注力する一方、新製品開発や既存製品の改良開発にも積極的に取り組んでまいります。

コスト削減につきましては、材料費及び外注費の更なるコストダウンを推進するとともに、設計品質の向上及び品質ロスの低減を図ることにより、無駄の排除に努めてまいります。

#### ② 既存事業の充実と新規事業への積極展開

既存事業につきましては、主要製品別に貢献度合いに応じて継続または中止の判断を迅速に行ない、注力すべき製品を絞り込むことにより、生産と販売のさらなる効率化を進めてまいります。

新規事業につきましては、将来の事業の柱になり得るテーマであることを前提に、産・学・官との連携や協業などに積極的に関わるとともに、フットワーク重視の観点から社長直轄の開発専門プロジェクトを設置し、新製品や新規事業の早期立ち上げに注力してまいります。

#### ③ 制度や仕組みの見直し

基本給、諸手当、退職金制度等の人件費の抜本的な見直しによる人事制度改革に着手するほか、新たに導入した基幹システムを早期に軌道に乗せ、事務処理や管理業務の一層の合理化を推進してまいります。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	566,165	392,147
受取手形及び売掛金	1,134,906	980,644
有価証券	600,000	450,000
仕掛品	414,095	428,675
原材料及び貯蔵品	135,563	183,876
その他	14,924	15,392
貸倒引当金	△1,138	△986
流動資産合計	2,864,517	2,449,750
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	337,092	332,624
その他(純額)	268,009	269,992
有形固定資産合計	605,101	602,617
無形固定資産		
49,821		48,402
投資その他の資産		
投資有価証券	79,406	79,437
その他	267,014	266,202
貸倒引当金	△501	△500
投資その他の資産合計	345,919	345,139
固定資産合計	1,000,842	996,158
資産合計	3,865,359	3,445,909
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,175	72,736
ファクタリング債務	284,151	217,870
1年内返済予定の長期借入金	153,352	108,353
未払法人税等	5,955	2,091
その他	284,344	179,426
流動負債合計	813,978	580,478
固定負債		
退職給付引当金	557,863	543,314
役員退職慰労引当金	13,942	13,942
その他	27,286	17,286
固定負債合計	599,092	574,543
負債合計	1,413,071	1,155,021

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,099,653	1,099,653
利益剰余金	23,986	△137,445
自己株式	△163,059	△163,059
株主資本合計	2,451,955	2,290,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	333	364
評価・換算差額等合計	333	364
純資産合計	2,452,288	2,290,888
負債純資産合計	3,865,359	3,445,909

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	480,720	315,916
売上原価	388,192	272,266
売上総利益	92,528	43,650
販売費及び一般管理費	188,169	203,207
営業損失(△)	△95,641	△159,557
営業外収益		
受取利息	143	303
受取配当金	255	273
助成金収入	12,055	3,195
その他	1,493	944
営業外収益合計	13,947	4,717
営業外費用		
支払利息	1,509	571
為替差損	5,078	4,168
その他	3,023	—
営業外費用合計	9,611	4,740
経常損失(△)	△91,305	△159,580
特別利益		
その他	1,745	—
特別利益合計	1,745	—
特別損失		
固定資産除却損	5	17
その他	16,542	—
特別損失合計	16,548	17
税引前四半期純損失(△)	△106,108	△159,598
法人税、住民税及び事業税	1,149	1,833
法人税等合計	1,149	1,833
四半期純損失(△)	△107,257	△161,431



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

生産高(千円)	前年同四半期比(%)
279,533	48.6

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
287,620	45.1	319,259	36.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

販売高(千円)	前年同四半期比(%)
315,916	65.7

(注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。

輸出先	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
アジア	276,199	99.1	53,124	48.5
北米	743	0.3	41,750	38.1
ヨーロッパ	1,671	0.6	14,610	13.4
計	278,614	100.0	109,484	100.0

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。